

独立行政法人水産大学校の平成25事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成25年度の総合評価が「A評価」であったこと及び評価委員会における指摘がなかったこと等から、評価結果を理由とする役員交代等は行わなかった。
----------	--

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、当該目標を達成するための中期計画に沿った年度計画が順調に実施され、平成25年度業務の実績が独立行政法人評価委員会において「A評価」を受けたところであったことを踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	---

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	25業年度評価における主な指摘事項	平成26及び27年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	科学研究費補助金に対して、申請書類の作成方法の指導等、教員の外部資金獲得への支援の活動が実施され、既採択者を除くほぼすべての教員が1件以上応募したことは評価に値する。次には、採択率の上昇に向けた取り組みを期待したい。	科学研究費補助金に関する学内での説明会に加え、採択率の向上に向けた取り組みとして、外部講師によるセミナーの開催を実施した。
その他主務省令で定める業務運営に関する事項	老朽化した船舶の更新を予算化する必要がある。	老朽化した練習船天鷹丸の代船建造について、平成28年4月1日に統合する水研センターの研究開発のための調査機能を併せ持った共用船として、平成27年度より3カ年の予算確保を行った。